

1 単元名 ハンドシュートゲーム

2 運動の特性

(1) 一般的特性

コート内で攻守が入り交じって、ボールを手で操作したり、空いている場所に動いたりして、チームの仲間と協力しながら、得点を競い合うことが楽しい運動である。

(2) 子どもから見た特性 (男子20名 女子17名 計37名)

A 運動の楽しさの体験状況

① 体育の学習は好きですか。(複数回答可)

好き (36名)	嫌い (1名)
・体を動かすのが楽しいから (30名)	・体が硬いから (1名)
・走るのが好きだから (4名)	
・体が温まるから (2名)	
・健康な体になるから (2名)	
・自分の頑張りが認められるから (1名)	
・見せ合い活動が楽しいから (1名)	

② ボール運動(遊び)は好きですか。

好き	ふつう	嫌い
35名	2名	0名

③ ボール運動(遊び)で楽しい時はどんなときですか。また、楽しくないのはどんなときですか。

楽しいとき	楽しくないとき
・ボールを投げたり、捕ったりできたとき (17名)	・負けたとき (12名)
・勝ったとき (10名)	・パスが繋がらなかったとき (5名)
・みんな協力できたとき (6名)	・悪口を言われたとき (4名)
・自分で点数を入れたとき	・ボールに当たったとき (4名)
・相手をぬいたとき	・ボールに触れないとき

④ 「ハンドシュートゲーム」(試しのゲーム)の授業は楽しかったですか

はい…37名(全員)

⑤ ハンドシュートゲームの学習で、どんなことをがんばりますか。また、どんなことができるようになっていきたいですか。

・シュートをきめる (15名)	・ボールキャッチ (5名)
・作戦を立ててみんなで勝ちたい (13名)	・ボールを上手く投げたい (2名)
・相手にとられないようにパスを回す (10名)	・相手のシュートやパスをとめたい (1名)

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

① 自分の力にあつためあてを立てて、学習をすすめることはできますか。

できる	自信がない
30名	7名

② ボール運動の学習を進める上で、大切なことは何だと思えますか。(自由記述)

・規則、マナーを守る (24名)	・ボールをしっかり見る (1名)
・協力してやる (10名)	・先生の話聞く (1名)
・安全に行う (9名)	・パスを回す (1名)
・友達と楽しく行う (5名)	・シュートをきめる (1名)
・パスをする (2名)	・めあてを守る (1名)
・ボールをしっかり持つ (3名)	・準備運動 (1名)
・こまめに水分補給をする (1名)	・しっかり体を動かす (1名)

C 運動の楽しさを求めるための技能の習得状況

チ ム (色)	番 号	性 別	氏 名	試しの ゲームで の動き	リ ー ダ ー 性	ソフト ボール 投げ	投球			捕球			5 0 m 走	習い事
							3 m	5 m	7 m	3 m	5 m	7 m		
黒	1	男	S			8.6m	○	●	●	○	●	●	11'14	
黄	2	男	K	◎		12.5m	○	●	○	○	○	●	10'42	サッカー
水	3	女	N			9.4m	○	○	○	○	○	●	10'06	
紫	4	男	T			10m	○	○		○	○	○	10'88	
水	5	女	H	◎	◎	15.1m	○	○	○	○	○	○	9'79	バスケ
黄	6	女	M			7.8m	○	●	●	○	○	●	9'79	
黒	7	女	O			9.9m	○	○	○	○	○	○	9'89	
黒	8	男	T	◎	◎	16.6m	○	○	○	○	○	○	9'32	
緑	9	男	O			14.4m	○	○	○	●	○	○	10'97	
黒	10	女	Y			9.3m	○	○	●	○	○	○	10'68	
白	11	男	T	◎	◎	14.2m	○	○	●	○	○	○	9'76	
桃	12	男	N			12.5m	○	○	●	○	○	○	9'84	サッカー
橙	13	女	T			9.7m	○	○	○	○	○	○	11'94	バスケ
緑	14	男	M			10.6m	○	○	○	○	○	○	11'53	
白	15	男	E			7.8m	○	○	●	○	○	●	11'32	
水	16	男	A			11.4m	○	○	○	○	○	○	10'54	
白	17	男	F			12.3m	○	○	●	○	○	●	10'15	
橙	18	男	I	◎	◎	15.8m	○	○	△	○	○	○	8'82	サッカー
白	19	女	N			6.4m	○	●	●	○	●	●	10'78	
紫	20	男	N			4m	○	●	●	○	●	●	11'08	
桃	21	男	A			12.9m	○	○	●	○	○	○	9'79	
緑	22	女	T			7.6m	△	△	○	○	○	○	9'76	
紫	23	女	Y	◎	◎	14.2m	○	△	△	○	○	○	9'64	
黒	24	女	S			9m	○	●	●	○	○	○	10'89	
黄	25	男	S			13m	○	△	○	○	○	○	11'43	
紫	26	男	S	◎		14.7m	○	●	●	○	○	●	10'26	
桃	27	女	M			7.6m	○	○	●	○	○	○	10'23	
橙	28	男	Y			7.3m	○	○	●	○	●	●	11'09	サッカー、野球
水	29	男	M			4.2m	●	●	●	○	●	●	11'64	サッカー
緑	30	男	N	◎		17.6m	○	○	○	○	○	○	9'08	テニス
白	31	女	H		○	7.1m	○	●	●	○	●	●	10'72	
緑	32	女	S			8.8m	○	●	●	●	●	●	10'23	
桃	33	女	S			6.5m	●	●	●	○	●	●	10'12	
橙	34	女	M			7.2m	○	●	●	○	●	●	12'57	
桃	35	男	Y	◎		20.3m	○	○	○	○	○	○	9'81	
紫	36	女	M			7.8m	○	○	●	○	○	○	10'11	
黄	37	女	W	◎	◎	7.5m	○	○	●	○	○	○	10'57	
男女混合学級平均						10.6m							10.44	

① ソフトボール投げ

男子の平均 12.0m (H27年度千葉市3年生男子の平均 16.40m)

女子の平均 8.9m (H27年度千葉市3年生女子の平均 10.42m)

② 投球…狙ったところに正確に投げることができるか 3m 5m 7m

(○:しっかり届く △:届くがコントロールが悪い ●:まったく届かない)

③ 捕球…教師が3m 5m 7m の位置から投げた山なりに落ちてくるボールを捕れるか

④ 50m走…持たないときの動きとの関連のため

男子平均 10.40 (H27年度千葉市3年生男子の平均 9.97)

女子平均 10.54 (H27年度千葉市3年生女子の平均 10.42)

※②③で使用したボールはソフトハンドボール1号

【考察】

A 運動の楽しさの体験状況

本学級の子どもは体育が好きである。「体を動かすのが楽しいから」というのが、一番の理由であり、それはこれまでの経験に起因していることが考えられる。休み時間の様子を見ると、ほとんどの子どもが外に出て、サッカーやドッジボールをして遊んでいる。しかし一方で、ボール運動が苦手な子どもも「ボールが当たるのが怖い」と答えている子どもも数名いる。そこで、ボールに対して抱いている恐怖心を少しでもやわらげ、ボール運動が苦手な子どもでも、仲間にパスをつなぎ、シュートが決められる手立てを講じることで、楽しさを味わえるようにしたい。

子どもたちは2年生でのボール投げゲームで、投げたり、捕ったり、当てたりする、攻守の攻防があるゲームを経験している。しかし、狭いコートでの攻守分離型の攻防が中心で、攻守が入り交じた状態でのゲームの経験は少ない。そこで、3年生ではやや広くなったコート内で攻守が入り交じた状態で競い合いが行えるような、場を工夫することにより、チームとして簡単な作戦を意識した学習へと発展できるようなゲームにしたい。

「ボールを投げたり、捕ったりする時」や「勝った時」が楽しいと答えた子どもが多く、楽しくない時は「負けた時」という答えが多かった。このことから、子どもたちはゲームの勝敗に関心をもっていることがわかる。勝つためにはどのようにしたらよいのかを考えられるような学習を進めていきたい。

試しのゲームの後の感想では、全員が「楽しかった」と答えた。「シュートやパスをするのが楽しかった」「パスをつないでシュートができたのが楽しかった」という意見が多かった。一方、難しいと感じたことやできるようにになりたいことでも「シュートやパスをすること」と多くの子どもが答えている。

以上のことから、本単元では仲間とパスをつなぎ、思いっきりシュートを決めることの楽しさを味わえるように規則や場の手立てを工夫して、ボール運動への意欲の向上を図りたいと考える。

B 運動の楽しさを求める学び方の習得状況

「自分の力にあつためあてをもつことができる」と答えた子どもが過半数を超えており、めあてをもって学習する意義を理解できている子どもが多いと考えられる。本単元は、チームで勝つためのめあてを立てる必要があるが、これまでの体育の学習のめあては「鉄棒運動」「表現運動」「マット運動」など個人のめあてが多く、チームを意識しためあてを立てた経験はほとんどない。そこで、「チームが勝つためには」という視点から個人のめあてを立てさせる。そうすることで、チームのめあてを立てるよさや大切さを学ばせ、今後の学習へとつなげていきたい。

ボール運動の学習を進める上で大切なこととして、規則やマナーを守ることや安全に気を付けること、協力し合うことを重視している子どもが多い。勝ちにこだわっていくほど、言葉遣いやプレーに粗さが出てくることも考えられるので、マナーを守り、勝敗を受け入れながらゲームに参加ができた子どもを褒めるなど、子どもたち同士の関わり合いについても配慮して学習を進めたい。チームで作戦を立てるといった経験が少ないという実態もあるので、チームのみんなが楽しめる簡単な作戦（良い攻め方）を意識できるように指導していきたい。

C 運動の楽しさを求めるための技能の習得状況

子どもたちは2年生でボール投げゲームの学習をしている。その学習の中で子どもたちは、パスを使ってボールをつなぎ、シュートチャンスをつくるなど、パスの必要性を見いだしている。実態調査では、近い位置からは的にボールを当てられる子どもは多かったが、少し離れるとコントロールが乱れたり、狙った所までボールが届かなかつたりした。ソフトボール投げの実態からも、本学級の子どもは投力が低いことがわかる。そこで、本学習では、教師がボールの投げ方や捕り方を指導したり、学習が始まる前に主運動につながる運動を取り入れて、基本的なボール操作をする時間を確保したりする。また、シュートやパスが仲間につながるようなコートやゴールの広さを設定し、ハンドシュートゲームの楽しさを味わえるようにしていく。

3 研究主題と学習の手立て

(1) 市教研小学校体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

(2) 視点と学習の手立て

<視点1>子どもの実態を把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、道すじや学習活動を工夫し、ねらいを明らかにすることで子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようにする。

○ 道すじの工夫

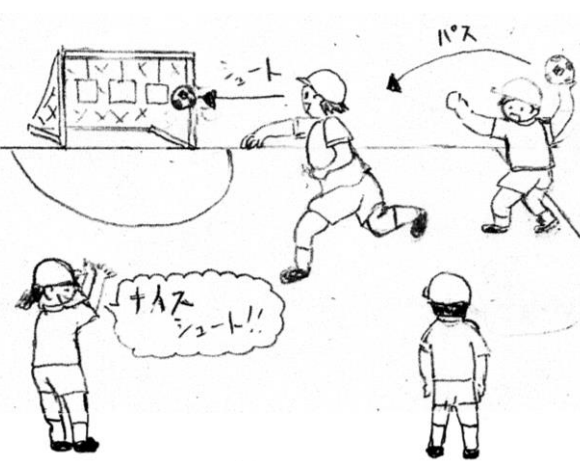
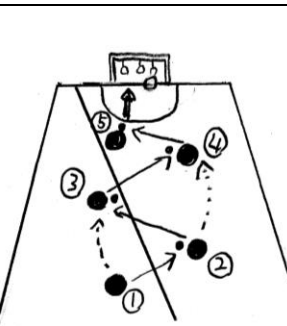
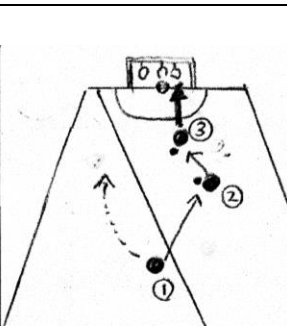
①ねらいの一本化

広いコートで攻守入り交じりの攻防の動きを身に付けるためには、同じコートで動きをじっくり経験したり、簡単な作戦を立てるための十分な活動の時間を確保したりすることが大切だと考える。そこで、本単元ではまず易しいルールや場で総当たり戦を行い、個人的な動きやチームでの攻め方をじっくりと経験させる。たくさん試合を経験する中で、うまくいった攻め方を作戦ノートに書き溜めていき、「チャレンジマッチ」では自分達のチームに応じた攻め方を生かして試合を行う。また、掲示にも他チームの攻め方を紹介する場を設けて、自分達の動きの中に取り入れてもよいことにする。

②主運動につながる運動

子どもたちが、ボールに親しみ楽しみながら、ゲームの中での動きを身に付けられるようにするために、単元を通して投げる・捕るという主運動へつながる運動を取り入れる。

始めの段階では、3年生への学習へとスムーズにつなげるために2年生の学習で行った「シュートゲーム」の要素を取り入れた「バンバンシュートゲーム」を行うことにより、これまでの経験を生かして楽しみながら技能が高まるようにしていく。また、学習が進むにつれて、試合の中で生み出されてきたチームに応じた良い攻め方の練習へと移行していくようにする。

<p>【バンバンシュートゲーム】 ・仲間からパスをうけて、シュートをする。</p>	<p>【オリジナルチーム練習の例】 ・よい攻め方を選んで、練習をする。</p>	
	<p>パスパスシュート</p> 	<p>たてたてシュート</p> 
<p>————→ パス -----→ 走り込み</p> <p style="text-align: right;">● 仲間 ● ボール</p>		
<p>【身に付けさせたい技能】</p>		
<p><基本的なボール操作></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを狙った場所に思い切り投げること。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ・味方にボールを手渡したり、パスを出したりすること。 	<p><ボールを持たない時の動き></p> <ul style="list-style-type: none"> ・向かってくるボールの正面に移動すること。 ・ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動すること。 ・ボールをもらえるところに来たら、声を出す。 	

<視点2> 一人一人のよさを伸ばし、できる喜びを実感できる手立てを工夫する。

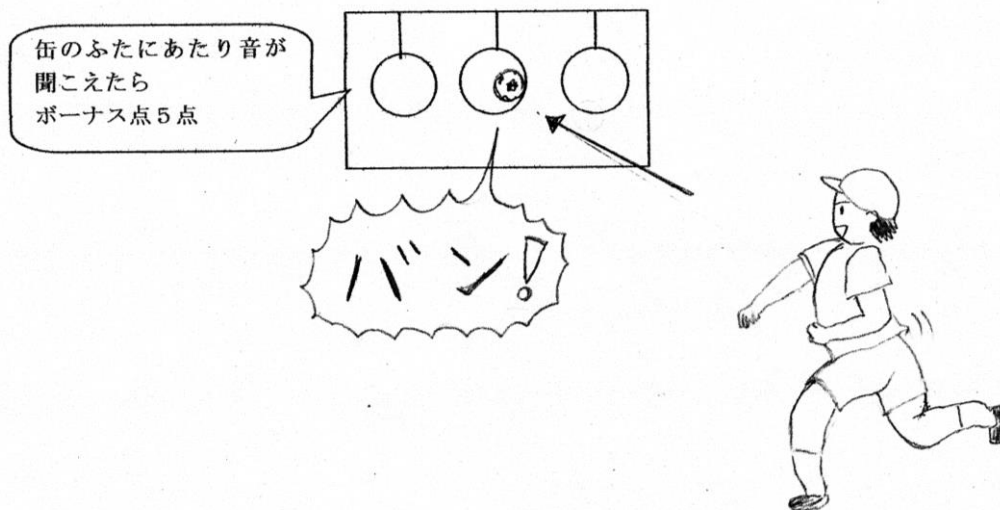
○コート工夫

試しのゲームでは「どこにパスを出してよいかわからず、ボールを持ったまま立ち止まってしまふ」「コート内で団子状態になってしまう」「どこに行けばパスがもらえるかがわからず、動けない」という場面が見られた。そこで、コートを広く使ってパスをつなぎながら攻める動きを身に付けるために、本単元では斜めグリッドコートを用意する。このコートを使用することで、それぞれの行動範囲が決まる。それにより、ボールに人が集まることを防ぎ、苦手な子どもボールに触れる機会が増えるだろう。また、常に攻撃側にとって数的優位が生まれる状況をつくることにより、パスがつながりやすくなり、シュートチャンスが増えるだろうと考える。

○攻め ●守り →攻める方向	
<p>斜めグリッドコート</p> <p>斜めのグリッドでは、攻める側の数的優位を生かして縦に素早く攻めたり、サイドを使って攻めたりする動きが期待できる。</p>	
<p>場の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・横20m、縦10mの長方形 ・ゴールは、ミニサッカーゴールを使用 (高さ180cm 横320cm 奥行150cm) ・ゴールエリアは、半径4mの半円

○ゴール工夫

試しのゲームでは、ボールを転がしてシュートをししたり、始まってすぐにロングシュートをしったりする子どもがおり、チームの仲間からは楽しくなかったという声が聞こえてきた。ハンドシュートゲームは、仲間とパスをつなぎ、思いっきりシュートを決めることが楽しいゲームである。その本質を体験させたいので、ゴールにボーナス得点となる的を設置し、転がすシュートを減らすとともに、直線的なシュートを意識付けていきたい。また、ロングシュートをするハンドシュートゲームの面白さである、パスをつないでゲームを楽しむことができなくなるので、ゴールエリア内にキーパーを一人入れて、簡単にロングシュートが入らないようにする。



4 学習のねらい

○規則やマナーを守り、友達と協力して楽しく学習を進めることができるようにする。

【関心・意欲・態度】

○自分のチームにあった攻め方を見つけられるようにする。

【思考・判断】

○パスやシュートをしたり、ボールをキャッチしたり、ボールがもらえる場所に動いたりすることができるようにする。

【技能】

5 評価規準（概ね満足できる状況）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームに進んで取り組もうとしている。 ・規則を守り、友達と励まし合って、練習やゲームをしようとしたり、勝敗の結果を受け入れようとしていたりしている。 ・友達と協力して、用具の準備や片付けをしようとしている。 ・ゲームを行う場や用具の使い方などの安全を確かめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型ゲームの行い方を知るとともに、易しいゲームを行うためのゲームの規則を選んでいる。 ・ゲームの型の特徴に合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・易しいゲームにおいて、基本的なボール操作やボールを持たないときの動きができる。
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①ハンドシュートゲームの学習に進んで取り組もうとする。 ②規則やマナーを守り、勝敗の結果を受け入れようとする。 ③友達と励まし合って、練習やゲームをしようとする。 ④安全に気を付けながら、友達と協力して準備や後片付けをしたり、ゲームや練習を行ったりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ハンドシュートゲームの行い方を知る ②良い攻め方を見つけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ②ねらった方向にパスやシュートをすることができる。 ③ボールをもらいやすい場所に移動することができる。

6 学習のねらいと道すじ（本時 4/6）

	1	2	3	④	5	6
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	主運動につながる運動 ・バンバンシュートゲーム ・オリジナルチーム練習				
		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> ねらい やさしいルールで ハンドシュートゲームを楽しもう。 (総当たり戦) (チャレンジマッチ) </div>				
		まとめ				
関・意・態	④	②		①	③	
思・判		①			②	
技能			①	②		③

7 学習活動と教師の支援 (本時 4/6)

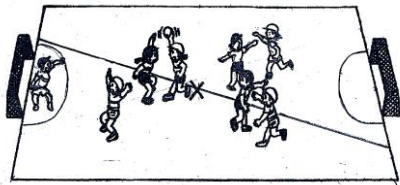
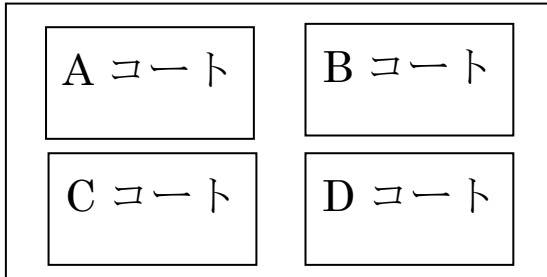
はじめ	<p>【オリエンテーション】</p> <p>1 学習のねらい、学習の進め方、学習カード、攻め方ノートの書き方について理解し、見通しをもつ。</p> <p>2 楽しく安全な学習にするためにルールやマナーについて確認する。</p>	
	<p>【はじめのルール】</p> <p>○ゲームの時間 前後半制 (前半5分ー移動・練習2分ー後半5分)</p> <p>○ゲーム人数 4人 (ゴールキーパーを含む)</p> <p style="text-align: center;">※1試合に必ずチーム全員が出場する。</p> <p>○ボール ソフトハンドボール1号</p> <p>○ルール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブルはなし。(ボールを持って3歩まで歩いてよい。) ・ゴールエリアには、キーパーのみが入ってよい。 (キーパーはエリア外でもプレーすることができる。) ・キーパーがはじいて出たボールは、キーパーボールとする。 ・得点が入ったら、エンドラインからスタートする。 	
なか	<p>【マナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合の始まりと終わりは全員であいさつ。 ・失敗を責めずに励まし合う。 ・ファウルをした場合には、素直に謝る。 ・勝敗には文句を言わない。 ・規則で不満がある場合は、授業の最後の話し合いの場で言う。後から文句を言わない。 	
	<p>3 用具の使い方や準備・片付けの仕方、安全確認の仕方を確認する。</p> <p>4 シュートやパスの仕方を理解する。 ○キャッチボールをしながら、ボールの投げ方や捕り方を確認する。</p> <p>5 主運動につながる運動を行う。 ○バンバンシュートゲーム ○オリジナルチーム練習</p> <p>6 最初のゲームを行う。</p> <p>7 次の学習のめあてを立てる。</p> <p>◇安全に気を付けながら、友達と協力して準備や後片付けをしたり、ゲームや練習を行ったりしている。 【関心・意欲・態度④】</p>	
	学習の内容と活動	教師の支援・評価 (支援○ 評価◇)
	<p>1 協力して学習の場づくりをする。 ○チームごとに用具を準備し、準備運動をする。</p> <p>2 主運動につながる運動をする。 ○学習が進むにつれて、チームに応じた攻め方の練習に変化させていく。 ・バンバンシュートゲーム</p> <p>3 今日めあてと学習の進め方を確認する。</p>	<p>○チームで準備をする場を決め、協力して行うように声をかける。</p> <p>○素早くパスをしたり、ねらった的に当てることができたり、直線的なボールを投げることができたりした子どもを称賛する。</p> <p>○主運動につながる運動を通して、投げ方や動きのポイントに気付くようにする。</p>
	<p>ねらい やさしいルールで、ハンドシュートゲームを楽しもう。</p>	
	<p>【予想される個人のめあての例】</p> <p>A: シュートを思いっきり打つ。</p> <p>B: 友達に声をかけてパスをする。</p>	<p>○「自分はどんなことが上手になりたいか」ということを考えてめあてを立てるように助言する。</p> <p>○ゲームの中で自分のめあてを意識して動けるように確認する。</p>

なか
(総当たり戦)

4 ゲームを行う。<総当たり戦>

- ・第1ゲーム
(前半5分-後半5分)
- ・移動や練習・作戦(2分)
- ・第2ゲーム(対戦相手が変わる)
(前半5分-後半5分)

【コートの場合】



- 5 学習を振り返る。
- ・チームごとによい攻め方や良かった動きを振り返る。
 - ・攻め方ノートに良かった動きを書き込む。
 - ・友達の良かった動きを紹介し合う。
 - ・本時を振り返り、学習カードに記入する。
 - ・シュートがたくさんできるようになったり、相手チームに勝ったりした攻め方を紹介し合う。
- 6 後片付けをする。

- 1 協力して学習の場づくりをする。
- チームごとに用具を準備し、準備運動をする。
- 2 主運動につながる運動をする。
- オリジナルチーム練習
- 【予想されるチーム練習の例】
- ・たてたてパス作戦
(縦にパスをつないでシュート)
 - ・パスパス作戦
(横にパスをつないでシュート)
 - ・おとり作戦
(誰かがおとりになって相手をだます)
- 3 今日めあてと学習の進め方を確認する。
- 【予想される個人のめあての例】
- C: 的をねらってシュートする。
 - D: ボールがもらえそうな場所に動こう。

なか
(チャレンジマッチ)

- ねらったところに、シュートを決めることができた子どもを称賛する。
- 動き方のわからない子には、積極的に関わり、一緒に動いたり、動きの指示を出したりする。
- 良いプレーが見られたり、励ましの声、アドバイスなどが聞かれたりしたら、積極的に称賛する。
- 規則やマナーを守ってゲームを進めているか確認し、必要に応じて支援する。
- ◇ハンドシュートゲームの学習に進んで取り組もうとする。 【関心・意欲・態度①】

◇規則やマナーを守り、勝敗の結果を受け入れようとする。 【関心・意欲・態度②】

◇ハンドシュートゲームの行い方を知る。 【思考①】

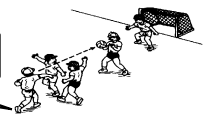
◇ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 【技能①】

- うまくいった攻め方を紹介させ、よい攻め方をしたチームを称賛する。
- 子どもが発表した友達の良い動きや良い攻め方を掲示物に記入し、次時の見通しをもたせる。
- 自分のめあてが達成できたか、振り返る。


○分担に従い、安全に気を付けて、協力して行うように助言する。

- チームで準備をする場を決め、協力して行うように声をかける。
- 安全への配慮や役割の分担ができていないところは、声をかける。
- これまでの攻め方から、自分たちにあった攻め方を選んで、練習をするように助言する。
- 攻め方が決まらないチームにところに参加し、攻め方のアドバイスをする。
- ◇友達と励まし合って、練習やゲームをしている。 【関心・意欲・態度③】

たてにパスを出そう。



- 前時の反省を生かしためあてを立てることができている子どもを称賛する。
- 掲示物を活用し、前回までの活動や良い攻め方を全体で確認する。
- これまでに経験した攻め方から、今日の攻め方を話し合い、決めるように助言する。

<p>4 チーム内で今日の攻め方を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>パスパス作戦で、もっとパスを早くつなげよう。</p> </div>  <p>5 ゲームを行う。〈チャレンジマッチ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1ゲーム (前半5分ー後半5分) ・移動や練習・作戦(2分) ・第2ゲーム(対戦相手が変わる) (前半5分ー後半5分) <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【チャレンジマッチとは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1ゲーム 総当たり戦で勝ちが少なかったチームから対戦相手を選んでいく。 ・第2ゲーム以降 前回、負けたチームが対戦相手を選ぶ。 </div> <p>6 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームごとによい攻め方や友達のよかった動きを振り返る。 ○攻め方ノートに良かった攻め方を記入する。 ○友達の良かった動きを紹介し合う。 ○本時の振り返りをして、学習カードに記入する。 ○シュートがたくさんできるようになったり、相手チームに勝ったりした攻め方を紹介し合う。 <p>7 次時の対戦相手を確認する。</p> <p>8 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○チーム内で、今日の攻め方が決まらないところには、掲示物や攻め方ノートを確認し、これまでの攻め方を活用するように助言する。 ○負けが多いチームの話し合いに参加し、動き方や攻め方のアドバイスをする。 ◇良い攻め方を見つけている。【思考・判断②】 ○友達に素早くパスを出したり、空いてる場所に動いたりしている子どもを良い動きとして称賛する。 ○これまで書き溜めた作戦ノートを確認しながら攻め方を考えるように助言する。 ○全体に広めるため、積極的に声を掛け合ったり、協力しているチームを称賛する。 ○ねらったところに思いっきりシュートを打っている子どもや得点に絡むよい動きをしている子を称賛する。 ○自分の動く場所に戸惑っている子どもには、空いている場所に動くことを助言する。 ○負けているチームには、動きや攻め方を助言する。 ◇ねらった方向にパスやシュートをすることができる。【技能②】 ◇ボールをもらいやすい場所に移動することができる。【技能③】 ○チームごとにうまくいった攻め方や友達の良かった動きを伝え合うと共に、チームの仲間を認め合い、次時への意欲を高める。 ○自分のめあてが達成できたか、振り返りをするように声を掛ける。 ○シュートがたくさんできるようになったり、勝てるようになったりしたチームを紹介し、攻め方の参考にできるようにする。 ○規則の改善が必要か確認し、必要に応じて話し合うよう助言する。 ○次時の対戦相手を決める際、負けたチームが対戦相手を選ぶように伝える。 ○分担に従い、安全に気を付けて、協力して行うように助言する。
<p>まとめ</p>	<p>【学習のまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○規則やマナーを守り、友達と協力して楽しく学習を進めることができたか。 ○自分のチームにあった攻め方を見つけられたか。 ○パスやシュートをしたり、ボールをキャッチしたり、ボールがもらえる場所に動いたりすることができたか。